

■ 開講 50 年目の人気講座、満席でスタート ■

「関西大学飛鳥史学文学講座」に 200 人

【期 間】4月14日（日）～ 2025年3月2日（日） 各回 13:00～15:00 <全14回>

【場 所】明日香村中央公民館（奈良県高市郡明日香村）

関西大学では4月14日、「2024年度 飛鳥史学文学講座—やまと・あすか・まほろば塾—」（全14回）を明日香村中央公民館にて開講し、開講式に約200人の参加者がありました。

本件の
ポイント

- ・開講 50 周年の開講式には、明日香村村長、関西大学理事長、学長が参加。約 200 人が出席した。
- ・高松塚古墳の壁画発見を契機に始まった講座の歴史を描いた記録映画を上映。
- ・明日香村では世界遺産化の取り組みも注目され、近畿外から訪れる受講者も。

奈良県明日香村で1975年に開講し、50年目を迎えた「関西大学飛鳥史学文学講座」が14日スタート、約200人が参加しました。地元奈良県だけでなく、例年九州や関東からの参加者もあり、研究成果の地域還元の一環としてシニア層を中心に根強い人気が続いています。



短編映画「飛鳥とともに～BEYOND 50YEARS」



第1回講座の様子

開講式では関西大学の芝井敬司理事長、前田裕学長が挨拶。明日香村の森川裕一村長が「明日香村の古墳、遺跡についてわかりやすく伝えていくため、関西大学と協力していきたい」と飛鳥の遺跡群の世界文化遺産登録を目指す思いを語りました。また、50年目を記念して制作された短編映画「飛鳥とともに～BEYOND 50YEARS」が上映されました。貴重な記録写真・映像を使い、再現映像なども作りこんで、この講座を立ち上げ、続けてきた関係者の努力を伝える内容に、満席となった会場から大きな拍手が送られました。そのあと「蘇我氏四代の野望と挫折 一墳墓に反映された飛鳥時代前期の権力抗争」と題して、本学飛鳥文化研究所・植田記念館名誉館長で本学名誉教授の米田文孝氏が講演。蘇我氏の歴史的な位置づけと明日香村の古墳の調査結果についての丁寧な解説に、訪れた人は熱心に聞き入っていました。

2024年度飛鳥史学文学講座は、この回を含めて全14回のスケジュールで来年3月2日まで開かれます。1講座のみ受講も可能です。

取材に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：伊地知、小林、明原 *写真提供可能

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1937 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ <2024 年度 飛鳥史学文学講座> 概要・趣旨・スケジュール

【概要】

【開講期間】4月14日（日）～2025年3月2日（日） 13:00～15:00 <全14回>

※特別講のみ10:00～12:00、詳細スケジュールは次ページご参照

【場 所】明日香村中央公民館（奈良県高市郡明日香村川原91-1）

【定 員】200名 【受講対象者】飛鳥時代をはじめとする歴史や文化に興味関心をお持ちの全ての方

【受講料】年間受講料5,000円（税込）、1講座のみ受講は1,000円（税込）

※明日香村在住者ならびに、本学学生、本講座に興味のある中高生は無料

【受講申込にかかる問合せ先】関西大学教育後援会 飛鳥史学文学講座係 TEL:06-6368-0055

【主 催】関西大学飛鳥文化研究所、明日香村教育委員会

【過去3年間の実績】2023年度:1,826名、2022年度:2,008名、2021年度:1,531名（延べ受講者数）

▼イベント詳細 <https://www.kansai-u.ac.jp/pa/event/asuka.html>

【趣旨】

1972年、故網干善教助教授（当時。後に名誉教授）率いる関西大学の考古学陣が、日本初となる高松塚古墳の壁画を発見した。本講座はこの未曾有の大発見を契機に、本学の研究成果を広く社会に還元することを目的として企画されたもので、本学飛鳥文化研究所と奈良県明日香村の共催により実施している。これまで延べ約11万人が受講し、2024年度で開講50年目を迎える。

【スケジュール】 ※開催時間は13:00～15:00、特別講のみ10:00～12:00

講	日 程	講 師（敬称略）・テーマ
1* 終了	4月14日	関西大学飛鳥文化研究所・植田記念館名誉館長・関西大学文学部名誉教授 米田 文孝 「蘇我氏四代の野望と挫折 一墳墓に反映された飛鳥時代前期の権力抗争一」
2	5月12日	関西大学文学部教授 乾 善彦 「古代人と文学—漢字への憧憬と畏怖—」
特別	6月9日	明日香村教育委員会文化財課課長補佐・関西大学非常勤講師 西光 慎治 「飛鳥の仏たち川原寺と川原寺裏山遺跡 一川原寺裏山遺跡発掘50周年一」
3		作家・関西大学客員教授 玉岡 かおる 「皇王のしるし・神剣の系譜」
4	7月14日	関西大学非常勤講師 今尾 文昭 「『祖』の伝承・成立と古墳 一ウジ系譜に考古学で挑む一」
5	8月4日	関西大学文学部教授 井上 主税 「渡来人とかわる考古資料から蘇我氏を考える」
6	9月8日	関西大学副学長・文学部教授 藤田 高夫 「『木』から『紙』へ 一古代漢字文化の諸相（四）一」
7	10月13日	関西大学文学部教授 長谷 洋一 「『国華余芳』の世界 一お雇い外国人が見た正倉院宝物一」
8	11月10日	関西大学文学部教授 西本 昌弘 「難波地域の古代史 一高津宮・堀江・難波津・大郡一」
9	12月8日	関西大学客員教授 徳田 誠志 「『近つ飛鳥』と『遠つ飛鳥』の陵墓 一『古墳』の終焉と『日本』の始まり・第2章一」
10	2025年 1月19日	関西大学文学部教授 村田 右富実 「歌から見る持統朝 一石見相聞歌一」
特別	2月9日	天王寺楽所雅亮会理事長・一般社団法人雅楽協会代表理事・関西大学前客員教授・ 関西大学非常勤講師 小野 真龍 「明治期の天王寺楽所の変動 一雅亮会への天王寺舞楽の継承一」
11		明日香村村長・関西大学客員教授 森川 裕一 「『飛鳥・藤原』の世界遺産登録 一石の都、水の都“飛鳥京”現る一」
12	3月2日	関西大学文学部教授 黒田 一充 「御田植祭りの人形」